

令和5年度事業報告

I. 公益を目的とする事業

【公益事業番号1】：科学技術に関する研究活動の助成事業

1. 下中科学研究助成金

令和5年度・第62回下中科学研究助成金審査委員として、青木清、中尾征三、蟻川謙太郎、園池公毅、宮崎活志、吉田浩子、高木美也子の7氏に委嘱し、審査委員長に蟻川謙太郎氏を互選しました。

令和5年度の募集を5月中旬にホームページに告知し、メールにて都道府県および政令指定都市・主要都市教育委員会、教育センター、全国新聞社・放送局、研究団体等に周知方を依頼し、募集を開始しました。

同年12月1日に締め切り、応募総数は79件(前年68件)で、内訳は自然科学関係49件、人文科学関係10件、その他20件でした。

禅知明予備審査委員他10氏に採点を依頼し、令和6年1月22日、アルカディア市ヶ谷にて予備審査会を開催し、助成金交付候補者30名を選定しました。同年2月1日に、アルカディア市ヶ谷にて本審査会を開催。川上新吾予備審査委員より予備審査の経過が報告され、審議に入りました。応募総数が伸び、全体レベルが上がり、今回は30名の選定になりました。

なお、助成金の取得は叶いませんでしたが、優秀な研究と認められました7名を次点とし、奨励を込めて図書券(10,000円分)を、4名の推薦をいただいた学校・山協学園に学校賞として次点と同額の図書券を贈りました。

また、「2024年ホームページ掲載研究論文」への執筆候補者として、取得者の中から正候補者5名、補欠候補者3名を推薦しました。

同年2月21日に入選者の発表を行い、同年3月10日に各入選者に対して助成金の送金及び次点者への図書券の発送を行いました。

募集にあたり周知方を依頼しました各所に対し、メールにて審査結果を知らせ、各々に、発表周知方を依頼しました。

募集周知に関しましては下記の各社・団体からご協力をいただきました。

【募集関係】

- ① KEYENCE e-GRANT 研究助成金獲得カレンダーに掲載
- ② JST 理数大好き NEWS に掲載

【結果発表】

- ① FM 熱海・湯河原のパーソナリティ・遠藤雅子氏が静岡県立静岡農業高等学校の長谷和志先生を取材しました。
2. 『2023 年ホームページ掲載研究論文』は令和 5 年 12 月に公開しました。
3. 審査委員長・青木清先生が令和 5 年 5 月 4 日に永眠されました。改めて、長年のご貢献に感謝申し上げ、併せて、ご冥福をお祈り申し上げます。

【公益事業番号 2】：教育映像資料の収集、貸出、閲覧および展示

1. EC アーカイブズ
 - (1) 民族誌映画専門配信サイト「エトノスシネマ」にて、EC フィルム新シリーズの配信がスタートしました。SNS 等で拡散しているものの、周知は十分ではなく未だに収益には至っておらず、引き続き広報に努めてまいります。
 - (2) <エンサイクロペディア・シネマトグラフィカを見る>上映会は、下記の通りポレポレ東中野にて開催いたしました。参加者も大分戻りました。
 - ①令和 5 年 8 月 25 日 「お供えのくかたち」 EC と西日本の民俗行事から」
 - ②令和 6 年 2 月 8 日 「山の中、森の中で生きる その方法と技①」
 - (3) EC フィルムを広く知っていただく活動の一環として、Space&Cafe ポレポレ坐店内での上映を行っており、カフェの通常営業の日に店内のスクリーンで上映しております。
 - (4) 「映像のフィールドワーク・ノート①」が好評につき、残部が少なくなったので増刷及び、同②の編集作業を開始いたしました。

(5) 貸出実績として3件・36,000円でした。

2. パール・下中記念館

- (1) 現地での清掃、調査及び撮影を完了しました。来期のオンライン公開を開始するべく、編集及びホームページ掲載の準備を進めております。
- (2) 記念館内の展示が整わず休館としたため、見学者の受付は行いませんでした。
- (3) 「パール博士のことば」の今期の有料頒布は100部でした（前年度100部）。

3. 丹波篠山市・世界平和アピール七人委員会との協同事業

『平和』に関する講演会は、令和5年9月14日、丹波篠山市民センターにて開催いたしました。世界平和アピール七人委員・酒井啓子先生（千葉大学教授、イラク研究の第一人者）が「イラク戦争から20年ー日本と国際社会はどう変わったかー」の演題で講演され、今世界で起こっている紛争につき、一同、真剣に考え深く理解することができ有意義な会となりました。

4. その他「アジア暮らしの暦」プロジェクト

日本・中国・韓国、3カ国のコアメンバー8人による研究会を実施し、端午(6/3)・盆(8/12)・中秋(10/15)・旧正月(1/22)等、折々の行事に合わせて、それぞれの風習、食など生活実感を交えて交流した成果を元に「アジア暮らしの暦 日本・中国・韓国の巻」折本暦のサンプルが仕上がりました。今年度は折本暦及びサイトの構築につき、有効活用すべく、話し合いを進めて参ります。
参加者は中国・韓氷（翻訳者 中国河南）、胡霞（日中交流を目的とする団体職員 西安）、韓国・金淑子（在日韓国人 研究者）、金承福（出版社 日韓交流）、日本・下中菜穂、下中美都 松田牧恵 小原佐和子（写真家 サイト構築、管理）。

【公益事業番号3】：科学技術の優秀な研究成果に対する表彰

1. 表彰事業

「5年毎に実施」との定めであるため、本年度の実施はありません。

【公益事業番号4】：国際相互理解の促進を目的とする助成事業

1. 上野眞資記念事業「日本を知ろう」

ホームページの再編を実施し、募集をかけるもインド人留学生の総数が少なく3名のみ申請者となりました。審査委員3名及び当該事業担当理事3名も参加し、令和5年7月23日に面接試験を実施し、3名全員に助成金を付与し、活動を支援いたしました。

実施報告書及び経費精算報告は令和6年2月15日が締め切りでしたが、全員締め切りに間に合わず、提出延長を余儀なくされました。2月26日に、アルカディア市ヶ谷にて審査会を行い、審議の結果、この度の賞金授与は見送ることとなりました。

2. JALSTA日本訪問

令和5年6月11日に来日したJALSTA一行の日本語研修の支援を行い、同月12日に財団主催の歓迎レセプションをオリンピック記念青少年総合センター内<カフェフレンズ>にて行いました。
(引率教師6名/生徒29名総勢35名)

3. 書籍贈呈

来日中のJALSTAの教師達と贈呈書籍について話し合いましたが、書籍の選定が折り合わず、今期は見送ることとなりました。

II. 収益を目的とする事業

【収益事業番号1】：伝統芸術の貴重な映像及び資料の頒布

「雅楽」の今期の売上は、バラ3枚、合計32,626円（前年バラ3枚、合計26,380円）でした。

III. その他

1. 寄附金

(1) 内閣府より、令和5年9月19日より令和10年9月18日までの期間において、税額控除に係る認定を付与されました。ホームページの寄附金ページを更新し、税額控除適用団体として寄附金を募っております。

(2) 今期の寄附金は41名、合計318,000円（前年度・11名501,000円）でした。

① 「活動全般」	73,000 円
② 「公益事業 1 : 下中科学研究助成金他」	52,000 円
③ 「公益事業 2 : 教育映像・博物館事業」	130,000 円
(内訳 : EC 71,000 円・パール下中記念館 59,000 円)	
④ 「公益事業 4 : インド事業」	63,000 円

合計 41 名 318,000 円

寄付者の皆様に、心より御礼申し上げます。

2. 今期の定時・臨時理事会・定時評議員会は、「ZOOM」形式で行いましたが、令和 6 年 3 月 22 日の定時理事会は「対面形式」として行いました。

3. 公益財団法人国際交流センターの世界平和に関する活動(三極会議)につき、令和 5 年 11 月の三極委員会アジア太平洋委員会第 22 回ソウル地域会合に理事長 藤井卓也が参加しました。アジア太平洋地域における政治状況、安全保障問題(特に北朝鮮問題)、経済・金融・通商問題、グローバル・サウス、人口問題や気候変動・エネルギー政策といった地球規模課題等について、活発な議論が広げられました。

4. 令和 6 年 1 月 22 日にクラブ関東にて理事・評議員の懇親会を行いました。コロナによる自粛期間を経てようやく交歓会を開催することができ、大変和やかな会となりました。

II. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

(令和6年3月31日現在)

職名	常勤 非常勤	氏名	就任(重任) 年月日	担当 職務	報酬	現職
理事長	非常勤	藤井 卓也	令和4年6月7日		なし	CPグループ・正大光明会長 顧問
専務理事	非常勤	下中 弘	令和4年6月7日		なし	(株)エクスプランテ代表取 締役社長
常務理事	非常勤	下中 美都	令和4年6月7日		なし	(株)平凡社代表取締役会長
理事	非常勤	小沼 通二	令和4年6月7日		なし	慶應義塾大学名誉教授
理事	非常勤	上野 健爾	令和4年6月7日		なし	四日市大学関孝和数学研究所 所長
理事	非常勤	堤 富男	令和4年6月7日		なし	一般財団法人機械システム振 興協会会長
理事	非常勤	堀越 俊一	令和4年6月7日		なし	(株)講談社サイエンティ フィック代表取締役社長
理事	非常勤	佐野 玉緒	令和4年6月7日		なし	花土 (はなのふ)
理事	非常勤	久保利英明	令和4年6月7日		なし	弁護士
理事	非常勤	三宅 麻衣	令和4年6月7日		なし	現代美術家・京都芸術大学教 授
監事	非常勤	小坂 義人	令和4年6月7日		なし	飛悠税理士法人代表社員
監事	非常勤	阿部 薫	令和4年6月7日		なし	一般社団法人 日本国際児童図書評議会監事
評議員	非常勤	下中 直人	令和2年6月9日		なし	(株)東京印書館取締役社長
評議員	非常勤	岡田 一男	令和2年6月9日		なし	(株)東京シネマ新社代表取 締役
評議員	非常勤	中村 桂子	令和2年6月9日		なし	J T生命誌研究館名誉館長
評議員	非常勤	荻原 眞子	令和2年6月9日		なし	千葉大学名誉教授
評議員	非常勤	坂部 三司	令和2年6月9日		なし	星薬科大学評議員
評議員	非常勤	山田 和	令和2年6月9日		なし	作家
評議員	非常勤	田付 茉莉子	令和2年6月9日		なし	一般社団法人日本経営史研究 所会長
評議員	非常勤	大橋 祥宏	令和2年6月9日		なし	元 一般財団法人日本出版ク ラブ専務理事
評議員	非常勤	山崎 典子	令和2年6月9日		なし	宇宙航空研究開発機構宇宙科 学研究所教授
評議員	非常勤	大河原 昭夫	令和2年6月9日		なし	前 公益財団法人日本国際交 流センター理事長

2. 職員に関する事項

職名	常勤 非常勤	氏名	採用年月日	担当 職務	給料	備考
事務局長	常勤	海老沼 起美	令和3年6月1日		250,000円	
顧問	常勤	廣川 知志	平成11年9月20日		80,000円	

3. 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和5年6月1日 (定時理事会)	1. 令和4年度事業報告及び決算承認について 2. 定時評議員会招集の件 〈報告事項〉 業務報告の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
令和6年3月22日 (定時理事会)	1. 令和6年度事業計画及び収支予算審議の件 〈報告事項〉 業務報告の件	全会一致で承認・可決

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和5年6月20日 (定時評議員会)	1. 令和4年度事業報告及び決算承認について 〈報告事項〉 ①令和5年度事業計画及び予算報告の件 ②業務報告の件	全会一致で承認・可決

(3) 下中科学研究助成金審査委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和6年1月22日 (予備審査会)	1. 本審査委員会へ推薦する助成金取得者・次点者・「ホームページ掲載研究論文」執筆者の推薦について	全会一致で承認・可決
令和6年2月1日 (本審査会)	1. 助成金取得者・次点者・「ホームページ掲載研究論文」執筆者の選定について	全会一致で承認・可決

(4) 上野眞資記念事業「日本を知ろう」事業

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和5年6月23日 (予備審査会)	1. 助成金授与者の選定	全会一致で承認・可決
令和6年2月26日 (本審査会)	1. 最優秀賞及び優秀賞の選定	全会一致で承認・可決

4. 主務官庁（内閣府）との連絡事項

連絡年月日	連絡事項	履行状況
令和5年6月30日	令和4年度事業報告等の提出	令和5年6月30日 提出
令和5年9月19日	税額控除に係る証明書 受領（令和5年9月19日から令和10年9月18日まで）	
令和6年3月29日	令和5年度事業計画書等の提出	令和6年3月29日 提出
他に毎月「公益認定委員会だより」及び随時各種通知及びゼミナール案内等の配信を受けている		

令和5年度事業報告の附属明細書

1. 令和5年度・第62回下中科学研究助成金入選者一覧
2. 同 応募件数・入選件数
3. 上野眞資記念事業「日本を知ろう」入選者一覧
4. 理事・監事・評議員名簿
5. 各種助成金審査委員名簿

第62回（令和5年度）下中科学研究助成金入選者一覧

氏名	研究課題	都道府県	所属名
松本 浩幸	理科教育で自己決定を活用し生きる力を伸長させる授業の工夫	北海道	夕張市立夕張中学校
大場 祐汰	Vernier Graphical Analysis を活用した化学探究活動の開発－関数回帰に基づく化学反応次数の理論的な解析を通して－	茨城県	県立玉造工業高等学校
稲見 敬	Pythonを使ったSTEM教育の実践	栃木県	県立小山北桜高等学校
茂木 孝浩	個別最適化・協働学習と親和性の高い物理実験の開発	群馬県	県立富岡高等学校
橋本 悟	埼玉県内における外来種系統のドジョウの拡散状況	埼玉県	浦和実業学園中学校・高等学校
西澤 輝	地層の学習における新たなアプローチ：地質構造の3Dモデリング教材の開発・実践・普及	千葉県	市川市立大洲中学校
村上 正昭	教師の心理的安全性の規定要因及び影響の研究	東京都	八王子市立いずみの森義務教育学校
森川 大地	小学校理科の単元「振り子の動き」における誤差やデータのばらつきに関する指導法の開発	東京都	西東京市立栄小学校
亀田麻記子	伝統的発酵食品から広がる微生物探究プログラムの開発	東京都	順天中学高等学校
廣瀬 里佳	アコヤガイの廃棄貝殻を利用した新しい貝教育の研究	東京都	山脇学園中学校・高等学校
秋山 和広	高等学校生物科目における放線菌を活用した理科・生物教材研究	東京都	早稲田大学高等学院
上田凜太郎	中等教育段階における批判的思考を促進する数学的モデル化教材の開発に関する研究	東京都	都立大泉桜高等学校
小山 悠太	CO ₂ 濃度計を用いた呼吸・光合成速度の定量化とバイオチャーによる環境改善の模索	神奈川県	学校法人浅野学園 浅野中学・高等学校
篠原 恵	「水素結合」の考えを採り入れた、興味を持って楽しめる藍染体験の授業実践	神奈川県	川崎市立幸高等学校
佐藤 大輔	自立的な英語学習者の育成 ～ICTを活用して英語発話量と英語を話す意欲の向上を図る～	新潟県	上越教育大学附属中学校
浅見 拓真	1人1人端末を用いたゲーミフィケーションによる効果的な放射線の授業実践	石川県	白山市立笠間中学校
長谷 和志	陸上競技短距離走における指導言語と学習者の意識の関係 ～接地に関する指導を対象とした事例研究～	静岡県	県立静岡農業高等学校
佐藤 健太	学校体育での「省スペースで継続しやすい有酸素運動の開発」の授業実践	愛知県	名古屋大学教育学部附属中・高等学校
加藤 圭太	通信制高校数学科における指導・支援改善のための実践ハンドブックの開発	愛知県	県立旭陵高等学校
藤田 純太	京都府特産イバラモエビの胃内容物から日本海深海食物網の一端を捉える	京都府	府立福知山高等学校
尾崎 幸仁	猪名川河川域の『自然共生サイト』申請の為の基礎調査（絶滅危惧植物の増殖・河川域生き物のフェノロジーカレンダーの制作）	大阪府	府立園芸高等学校
谷脇 鉄平	環境DNA分析における濾過法の低コスト化について ～重力濾過システムによるDNA抽出～	大阪府	学校法人大阪学園大阪高等学校
中島 哲人	マイクロファイバー汚染に関する研究	大阪府	大阪桐蔭高等学校
庄田 比呂	淡路島における国内外来種“シラハマオーストラリアカブトエビ”の分布	兵庫県	県立洲本高等学校
甘利 大紀	探究的に学ぶ子を育む授業づくり～ScTN 質問紙による実態調査と「ONE STEPpers」による授業開発を通して～	兵庫県	芦屋市教育委員会
黒田 一之	特別支援学校教員アシスト AI の開発と可能性 -児童生徒の実態に合わせた指導・授業に焦点を当てて	兵庫県	県立氷上特別支援学校
水野 晃秀	水高コズナ・プロジェクト（その3）－人工授精の試みによる種苗の増産を目指して－	愛媛県	県立宇和島水産高等学校
大沼 敦子	「ガ行」「カ行」聞き分けに特化し、化学の理解を深めるリスニング補助教材の開発	高知県	高知工業高等専門学校
松田 健一	中学校理科授業のペア学習の学習効果と学習評価 -記録タイマーを使った「物体の運動」-	宮崎県	宮崎市立楳中学校
花原 努	ミナミトビハゼの雄はなぜ干潟に2本の煙突を作るのか	沖縄県	県立北部農林高等学校

（都道府県及び機関別）

第62回（令和5年度）下中科学研究助成金応募者集計表

都道府県別	応募 件数	取得 候補	次点 候補	部 門 別	応募 件数	取得 候補	次点 候補
北海道	8	1	0	自然科学			
青森県	1	0	0	算数・数学	4	1	0
宮城県	1	0	0	理科教育	18	7	1
山形県	1	0	0	物理	4	2	1
茨城県	3	1	0	化学	5	2	1
栃木県	1	1	0	生物	9	5	1
群馬県	1	1	0	地学・天文	1	1	0
埼玉県	2	1	0	農業・農学	3	0	0
千葉県	1	1	0	工業・工学	3	1	1
東京都	13	6	2	水産	1	1	0
神奈川県	3	2	0	技術・家庭	1	0	0
新潟県	2	1	0	小 計	49	20	5
富山県	1	0	0	人文科学			
石川県	3	1	0	国語	1	0	0
福井県	1	0	0	外国語	4	1	0
岐阜県	2	0	0	保健・体育	5	2	0
静岡県	2	1	0	小 計	10	3	0
愛知県	5	2	1	その他			
三重県	2	0	0	教育一般	4	2	1
京都府	4	1	1	生活・総合学習/探求	4	1	0
大阪府	3	3	0	特別活動	1	0	0
兵庫県	6	3	2	特別支援教育	2	1	1
奈良県	1	0	0	環境教育	3	2	0
和歌山県	2	0	0	情報教育	2	0	0
愛媛県	2	1	0	防災・安全教育	1	0	0
高知県	1	1	0	職業に関する専門教科	1	0	0
熊本県	2	0	0	その他	2	1	0
宮崎県	2	1	0	小 計	20	7	2
沖縄県	2	1	0	総 計	79	30	7
イラン	1	0	1				
総 計	79	30	7				

(29都道府県/海外1)

年 齢 別

20代	7	3	0
30代	26	10	2
40代	22	8	1
50代	10	2	1
60代	13	6	3
70代	1	1	0
総 計	79	30	7

最年少 25才
最年長 73才
平均年齢 45才

機 関 別

小学校	10	自然科学	2	1	0
		人文科学	3	0	0
		その他	5	1	0
中学校	22	自然科学	16	8	2
		人文科学	4	2	0
		その他	2	0	0
高等学校	37	自然科学	26	10	2
		人文科学	3	1	0
		その他	8	4	2
その他	10	自然科学	5	1	0
		人文科学	0	0	0
		その他	5	2	1
総 計			79	30	7

上野眞資記念事業 「日本を知ろう」入選者一覧

面談試験を経て助成金を得た下記3名から提出された活動報告を審査したが、いずれも最優秀賞及び優秀賞の水準に達せず、入賞者はなかった。

<p>Tonape, Siddhant Mahesh トナペ、シッドアント マヘシユ</p>	<p>徳島大学創成学科研究科博士前期コース／光システムコース</p>	<p>Meditation : The Art of Mindfulness 座禅：マインドフルネスの技術／Zen</p>
<p>Suresh, Divya ディヴィヤ、スレシユ</p>	<p>慶應義塾大学政策・メディア研究科／後期博士課程</p>	<p>India-Japan agro-technology collaboration: Case of Tamil Nadu state in India 日本国内のアグリテック・スタートアップや農家へのインタビューを実施する</p>
<p>Thakar, Ujjwala Mehul タカール、ウジュワラ メフル</p>	<p>東京大学大学広域科学／修士課程</p>	<p>The Persistence of Japanese Culture in the Face of a Rapidly Declining Population and the Anglicisation of Urban Japan 人口急減と英語コミュニケーションの普及に直面する日本文化の存続</p>

公益財団法人下中記念財団役員名簿

(2024. 3. 31)

理事長	藤井 卓也	CPグループ・正大光明集団会長顧問
専務理事	下中 弘	株式会社エクスプランテ取締役社長
常務理事	下中 美都	株式会社平凡社代表取締役会長
理事	小沼 通二	慶應義塾大学名誉教授
同	上野 健爾	四日市大学関孝和数学研究所所長
同	堤 富男	一般財団法人機械システム振興協会会長
同	堀越 俊一	株式会社講談社サイエンティフィック代表取締役社長
同	佐野 玉緒	花土 (はなのふ)
同	久保利英明	日比谷パーク法律事務所代表弁護士
同	三宅 麻衣	現代美術家・京都芸術大学教授

以上 10 名

監事	小坂 義人	飛悠税理士法人代表社員
同	阿部 薫	一般社団法人日本国際児童図書評議会監事

以上 2 名

評議員	下中 直人	株式会社東京印書館代表取締役社長
同	岡田 一男	株式会社東京シネマ新社代表取締役
同	中村 桂子	J T 生命誌研究館名誉館長
同	荻原 眞子	千葉大学名誉教授
同	坂部 三司	星薬科大学評議員
同	山田 和	作家
同	田付茉莉子	一般社団法人日本経営史研究所会長
同	大橋 祥宏	元 一般財団法人日本出版クラブ専務理事
同	山崎 典子	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授
同	大河原昭夫	前 公益財団法人日本国際交流センター理事長

以上 10 名

公益財団法人下中記念財団助成金審査委員名簿

(2024. 3. 31)

I. 下中科学研究助成金

委員	中尾 征三	元文部科学省初等中等教育局主任教科書 調査官
委員	宮崎活志	文部科学省初等中等教育局主任視学官
委員	蟻川謙太郎	総合研究大学院大学教授
委員	園池 公毅	早稲田大学教授
委員	吉田 浩子	人間総合科学大学教授
委員	高木 美也子	東京通信大学人間福祉学部教授

以上 6 名

II. 百科事典情報基盤形成助成金審査委員会

委員長	相賀 昌宏	前一般社団法人日本書籍出版協会理事長
委員	吉田 修平	弁護士
委員	繁田 勝男	公認会計士・税理士
委員	小柳 義夫	東京大学名誉教授

以上 4 名

Ⅲ. 上野眞資記念事業「日本を知ろう」審査委員会

委員長	沖津 武晴	元税務大学校長
委員	中村 雅子	東京都市大学メディア情報学部教授
委員	横山 千晶	慶應義塾大学法学部教授

以上3名

Ⅳ. 表彰事業審査委員会

委員	中尾 征三	元文部科学省初等中等教育局主任教科書調査官
委員	宮崎活志	文部科学省初等中等教育局主任視学官
委員	蟻川謙太郎	総合研究大学院大学教授
委員	園池 公毅	早稲田大学教授

以上4名